



岩江中だより

第 30 号

発行日:平成27年10月23日

発行:三春町立岩江中学校

電話:0247-62-8290

FAX:0247-62-8380

E-mail:school@iwae-i.fks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【緑風祭本番を待つ校舎風景 ～色づく紅葉、道ばたにはドングリ！～】

朝日を背景に、生徒昇降口前の木々の葉は少しずつ赤みを帯びてきました。駐車場に続く坂道には至るところにドングリがちりばめられています。教室の窓から見える外の景色も黄色や赤がいつの間にか目立つようになってきています。もうすぐ岩江中学校の一大イベント『緑風祭』がやってきます。どうぞおいでください。



【緑風祭本番を待つ校舎風景 ～色づく紅葉、道ばたにはドングリ！～】

『緑風祭』では、歌、踊り、劇、さまざまな催し・出し物が見られます。本番を前にして、音楽室で、教室で、体育館で最後の仕上げが行われていました。

“今の自分たちにしかできない文化祭”にむけて友とのひとときを楽しんでいるようです。



【定着してきました！ ～落ち着かない中でも、次の人のためにスリッパをそろえて。～】

文化祭前のトイレのスリッパ。さまざまな活動や係をこなさなければならない子どもたちや先生方、次の活動に急ぐばかりに、気持ちの落ち着かない日々が続きます。そんな中、岩江中学校のトイレのスリッパはご覧のとおりです。

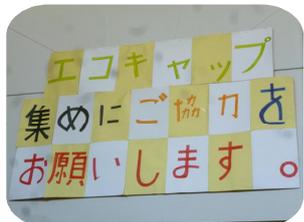
『貧すれば鈍する』ということわざではありませんが、慌ただしい中でも、次の人が使いやすいようにスリッパをそろえられる岩江中の子どもたち、『人のため』という気持ちと行動が定着しつつあります。



【定着しています！ ～係活動に地道に、継続して取り組んでいます。～】

落ち葉の季節になり、朝、横断歩道に立っていると、ほうきを抱え掃き掃除に精を出す生徒や先生の姿が昇降口前に見え隠れします。昇降口を入ったホワイトボードの上方の壁にはエコキャップ集めの看板が、朝の学活では当日の給食メニューが係から発表されています。

岩江中学校の子どもたちは、学校行事等の大きなイベントでの動きもすばらしいですが、日々の地道な係活動についてもすばらしい取り組みを継続できます。係としての責任をもって、自分のため、友達のために活動することの大切さを日々実践してくれています。



【学校保健委員会を開催！～肥満、痩身、SNSの弊害等が話題になりました。～】

10月21日(水)に本校において、『岩江小・中学校保健委員会』が開催されました。岩江小・中学校の校医さん、薬剤師さん、幼・小・中学校の関係教職員が集まって、健康診断結果等をもとに、肥満対策が効果を見せていること、痩身の児童・生徒の存在も看過できないこと、そして、スマホやゲーム、インターネットに関するアンケートからその弊害等についての話し合いがもたれました。

特に、SNS関係についての話し合いでは、病院の待合室では、家族がそれぞれゲームや携帯で診察を待っている様子が見られるという現状や、学校に迎えにきた保護者が子どもとのコミュニケーションよりもスマホ操作に夢中になっている姿、家の帰っても誰もいない状況でゲーム等の使用時間が長くなる現状もあるということ、「家庭ではゲーム1時間以内」とアンケートに答えた子どもさんには学力との正の相関関係があること、眼科の先生からはゲームやスマホのディスプレイの強い光が睡眠を妨げてしまうことなどについて情報提供や話し合いが行われました。

家庭での生活時間の乱れがちな子どもたちには、保護者や家族のみなさんがその子どもたちの家庭生活にこれまで以上に關心をもつていただき規則正しい生活を過ごさせること、ご家庭と学校が連携を図りつつ、学習や日常生活の基本となる規則正しい生活を提供・見守ってあげることの大切さについて共通理解がもたれました。



【いよいよ進路にむけての取り組みが本格スタート！～進路事務を説明します。～】

文化祭あけの10月27日(火)14:35から本校食堂において、『進路説明会』が行われます。校長と進路指導主事の加藤先生が参加し10月15日(木)に行われた『平成28年度県立高校入学者選抜実施要綱説明会』をうけての本格的な入試事務等についての説明会となります。

これまで取り組んできた学力向上にむけた努力、総合的な学習の時間等で学んだ『生き方学習』の成果、健康と体力、それらさまざまな『学び』、『努力』を総動員しての取り組みの重要なスタートとなる機会です。

【「知」も「徳」も「体」も大切に！～道徳の授業研究会をもちました。～】

学校においてバランスのいい全人的教育の推進はとても大切な視点です。10月22日(木)には2年生において道徳の授業研究会が行われました。郷土の資料を使用して、『人の生き方』について学ぶ授業でした。自らの『心』を育てる学習にも主体的に取り組んでいます。

